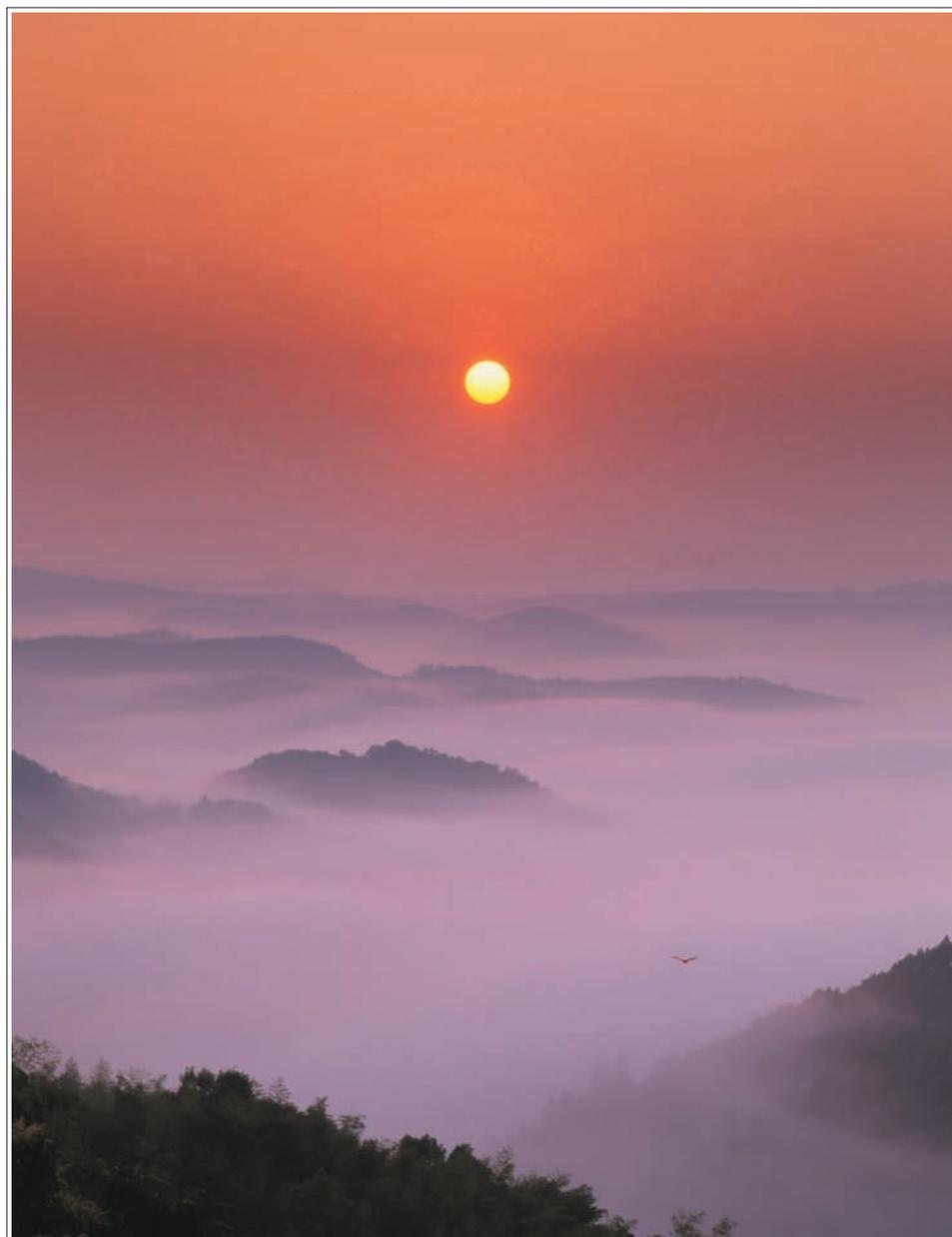


岡 歯 会 報



今月のHEADLINE

新年のご挨拶

岡山県歯科医師会 会長 酒井昭則

年頭挨拶

日本歯科医師会 会長 大久保満男

年頭特集

「我ら年男・年女一言申ス」

<p13>

<p4>

<p2>

2012 **1** vol.780

岡山県歯科医師会



目次

新年のご挨拶	岡山県歯科医師会 会長 酒井 昭則	2
年頭挨拶	日本歯科医師会 会長 大久保 満男	4
謹賀新年	岡山県歯科医師会 役員・支部長	5
Open the 理事会		7
我ら年男・年女一言申ス		13
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (89)		17
岡山県警察歯科医会 「平成23年度 岡山県警察歯科医会研修会」開催のご案内		19
社会保険部 第7回 社会保険部検討委員会報告		19
学術部 第139回学術集談会のお知らせ		21
報告		22
岡山県歯科医師会ICLSコースに参加して		23
平成23年度岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会 後記		24
公衆衛生部 「第32回全国歯科保健大会」参加報告		25
医療管理部 平成23年度 日本歯科医療管理学会中国支部総会・学術大会に参加して		26
平成23年度歯科医療安全研修会		27
開催案内 平成23年度スタッフレベルアップ研修会		28
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日(1月・2月)		28
厚生部 文化事業部会 平成23年度 レクリエーション大会(東日本大震災復興支援チャリティー大会)		29
平成23年度 レクリエーション大会報告(東日本大震災復興支援チャリティー大会)		30
支部モニター 岡山支部		32
吉備支部		33
笠岡支部		34
リレー随筆 「これから」 上村 勝人(倉敷支部)		35
学院だより 岡山県立岡山南支援学校における実習報告		36
日本栄養士会・日本歯科医師会第3回共同シンポジウム		37
お知らせ 平成23年度のコーラ健康保険組合の歯科健診終了		37
日本歯科医師会 平成23年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会		38
こちら編集室		38
訃報		39
会員異動		39
1月の収納金		39
11月 会の動き		40
1月・2月 本会の予定		41
1月・2月 支部の予定		42

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙作品 「陽はまた昇る」 高梁支部 黒瀬 邦彦 先生

一吉備中央町高谷から望む朝日です。昨年は大変な年でした。私も大変でした。今年も大変だ
と思います。でも明けない夜はありません。楽しいことを思いながら今年も頑張りましょう。



新年のご挨拶

岡山県歯科医師会
会長 酒井 昭 則

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

平成24年の初春を会員各位におかれましては、さわやかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素は本会の会務運営に特段のご理解、ご懇情を賜り衷心より御礼を申し上げます。

美しくのどかで恵み豊かな自然が突如として、隠しもっていた凶暴さをあらわにし、人間社会に大きな被害をもたらした。そして「想定外」と言う言葉を何度も聞いた。しかし、自然が人知の想像をはるかに越えた存在だと認識していれば、その論は成り立たない。自然への畏れを失ってはならないと云うことを、東日本大震災は改めて万人に知らしめた。そして原発事故。燃料棒の一部が溶けメルトダウンを起こしたと云う。人手で制御できない事態に陥った。これも「想定外」と云う。電気の恩恵を受けない者はいない。原子力の有効活用は当たり前であるにも拘らず、その危険性をほとんどの人が顧みることはなかった。現在も、その恩恵を我々は甘受している。そして既に9ヶ月が経過した。復興への道程はきわめて厳しい。永田町の見識と使命感に、はてしない虚脱感と無力感を覚える。時間の経過と共に報道の回数も減り内容も薄まってきている。自衛隊は去り、ボランティアも著しく減少していると聞く。被災地は少しずつ置き去りにされようとしているように思えてならない。国民一人ひとりが、この度の大地震災、そして被災地、被災者に思いを寄せ続けなければならない。

戦争に敗れ、焦土と化したこの国が深い喪失の底から立ち上がり今日の繁栄をもたらした。未曾有の国難に立ち向かい、克服するには厳しい現実を直視し、国民一人ひとりが負担を分かちあ

う覚悟が求められている。戦争と震災はまったくの対極にある。人災であり他方は天災である。しかし、愛する人を、大切な人を、大事な何かを失うことではまったく同じである。あの戦争を反省し、辛く悲しい経験を伝えることに意味があると同様に、この度の未曾有の震災を今を生きる我々は風化させてはならない。

本年も厳しい一年になると存じますが、自尊自立の精神を大切に主体性をしっかりと保ち渾身の努力を重ねてまいり所存であります。胸をはって元気を出して、愚直に会員益を求めてまいります。会員各位の温かいご指導そして厳しいご叱正をお願いし、新年のご挨拶と致します。





年 頭 挨拶

日本歯科医師会

会 長 大久保 満男

会員の先生方におかれましては、つつがなく新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また昨年は本会の会務に多大なるご理解とご支援を賜りましたこと心より御礼を申し上げますとともに、本年も変わらぬご厚情をお願い申し上げます。

今、世界は大きく揺れ動いています。2008年のリーマンショックからの世界不況は未だつづき、そこからのヨーロッパの市場の凋落は世界に深い不安の影を投げかけています。さらにわが国は、あの3月11日の東日本大震災による被害からどのように立ち直れるか、未だ混迷の中にあります。

以前から、一世紀の始まりに、その世紀を特徴づける事態が起こるといわれてきました。

先の20世紀は戦争の世紀と言われていますが、これは初頭に第一次世界大戦が起き、その整理もつかぬうちに第二次世界大戦が始まり、その後は米ソの冷戦状況が1990年まで続いたことを見れば、まさにそのとおりだと考えられます。

では21世紀はと考えると、2001年9月11日の同時多発テロが、その象徴でないかといわれました。そして次に2008年9月15日のリーマンショック、そして2011年3月11日の大震災と原発事故。これら3つの事態は一見脈絡なく起こっているようですが、実は根底にあるのは、西欧が創ってきた科学を始めとする技術に対する厳しい批判であり、反逆であると考えられています。

同時多発テロはジェット機を武器にしてツインタワーという経済と文明の拠点を破壊することであり、リーマンショックは金融工学という技術で西欧が創った資本主義の市場を危機に陥れ、そしてこの大震災は津波という自然が防波堤や原発という技術をあっさりと打ち破った。これらの事態に、文明社会をすでに持ってしまった我々が、どのように自らの生活のスタイルを変えられるのか、とてつもなく重い課題を我々は背負ってしまったと思います。技術が全てを解決するという思考が過度の技術への過信となり、それが我々に刃を突きつけているというイメージが頭から離れません。そして、もし21世紀が先に述べたような時代であるとしたなら、これからも、深刻な事態への対応に迫られることだと思います。根本的な解決策など極めて困難な状況を抱えつつ。

そんな中、わが歯科界に目を転ずれば、昨年はまず「歯科口腔保健の推進に関する法律」が衆参両議院の国会において全会一致で可決されたことは、まだ記憶に新しいことだと思います。この法律は、歯科保健・医療の大切さが国において認められたことの証ですが、同時にこれは、我々が新たな地平に立ったことを意味していると、私は考えています。



それを、私は「思想としての8020」という言葉で表しています。これは、8020が一人の人間の80年という人生の縦軸としての時間軸によって成立することから始まります。例えばここでは、20歳の成人式を迎えた若い人に「君の60年後の人生を口の状況からイメージしてみて」という問いかけが可能であることを意味します。日々の営みとしての時間が60年積み重なった未来を想像することは他の臓器では困難でしょう。60年後も今のように歯が揃っていて何でも食べられるのか。口元は若さを保っているのか。これらの問いは8020という概念によって初めて可能となるものです。

しかし同時に人は一人では生きられません。自分の健康、特に自らの未来の在り方が大切ならば、横に立つ家族や友人や地域の人々のそれもまた大切なものでしょう。この自分だけではない他者の思い、それが口腔保健法という法律であると、私は考えています。

我々は、生きていく目的をどこに置くのか。技術はその手段であって目的ではない。このような考え方が、先の技術への過信から、我々を解き放ってくれるのではないか。

我々歯科医師は、自らの足場である歯科保健・歯科医療を通して、我々の行為への考えを深く、そして広く突き詰めていくこと。それが思想としての8020として、新たな歯科医療への道を切り拓いていくことと確信しています。

本年が、歯科界にとって希望多き年であることを祈念し、年頭の挨拶といたします。

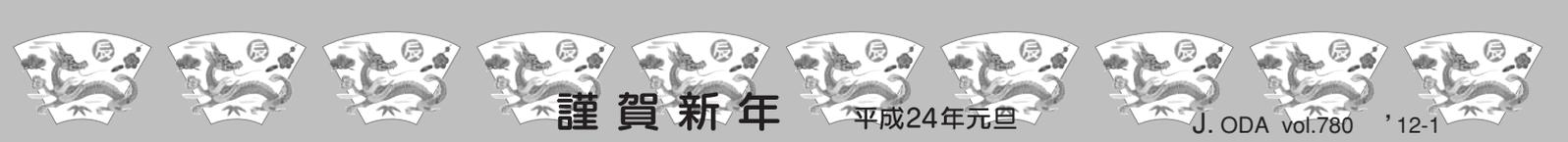
謹 賀 新 年

昨年は本会の円滑な運営にご協力を賜りまして誠に有難うございました。
本年も何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

平成24年 元旦

社団法人 岡山県歯科医師会

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 会 長 | 酒井 昭則 | | | | |
| 副 会 長 | 藤井 龍平 | 黒住 正三 | | | |
| 専務理事 | 大嶋 敏秀 | | | | |
| 常務理事 | 鈴木 聖次 | 伊丹 義明 | 西田 宜可 | 平岩 弘 | |
| 理 事 | 西岡 宏樹 | 東原 慶和 | 南 哲之介 | 横見由貴夫 | |
| | 毛利 行雄 | 塚本 裕子 | 黒木 祐二 | 田頭 一晃 | |
| 監 事 | 相坂 俊太 | 齋藤 治典 | | | |



新年あけましておめでとうございます

年頭に当たり、会員の諸先生方、並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

岡山支部長 永澤正信	御津支部長 磯島修	津山支部長 村上昌之
倉敷支部長 三上晴彦	児島支部長 大瀧洋	玉島支部長 石田元久
都窪支部長 矢尾尚武	玉野支部長 岡本全允	瀬戸内支部長 小林清司
赤磐支部長 岡村和則	和気支部長 武用光正	吉備支部長 桑木忍
浅口支部長 原田俊三	笠岡支部長 松本典之	小田支部長 中西史彦
井原支部長 三宅教夫	高梁支部長 大塚彰	新見支部長 名越資幸
勝・英支部長 井上昌次郎	真庭支部長 薬師寺厚夫	

Open the 総務会

平成23年度 第26回
平成23年11月10日(木)
18:30~20:45

1. 会長挨拶

飛田監事の合同葬、お疲れ様でした。特に事務局の心配りに感謝しています。また、長崎出張時に名刺を30枚くらい入れておいてくれましたし、私の表彰にも祝電を頂きました。本当に有難うございました。

2. 報告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 11月1日(火)
- (2) 医事処理小委員会 11月1日(火)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 「岡山県国民医療推進協議会主催の決起集会」開催打ち合わせ会 10月28日(金)
- (2) 日本歯科医療管理学会中国支部役員会・懇親会 10月29日(土)
- (3) 新入会員セミナー 10月29日(土)
- (4) 日本歯科医療管理学会中国支部総会・学術大会 10月30日(日)
- (5) 厚生部文化事業部会レクリエーション大会(ゴルフ) 10月30日(日)
- (6) 歯科往診サポートセンター支部連携調整会議 11月1日(火)
- (7) 第38回笠岡歯科技工専門学校歯科技工祭 10月30日(日)
- (8) 「つくほお口の健康8020フェア」 11月3日(木・祝)
- (9) 救急蘇生講習会 11月3日(木・祝)
- (10) はぐくみ岡山「おぎゃっと21」(津山) 11月3日(木・祝)

- (11) 第10回警察歯科医会全国大会 11月4日(金)
- (12) 長崎県歯科医師会へ出向 11月5日(土)
- (13) 岡山県糖尿病医療連携体制検討会議 11月7日(月)
- (14) 岡山県四師会懇談会 11月9日(水)
- (15) レセック体験会 岡山 11月10日(木)

〔その他〕

- (1) 故飛田領一監事 合同葬儀関連行事 11月1日(火)・2日(水)
- (2) TV放映 セとうちパレット930 11月2日(水)
- (3) 厚生部文化事業部会レクリエーション大会(テニス) 11月3日(木・祝)
- (4) TV放映 知りたい聞きたい もも丸くん! 11月3日(木・祝)

〔連盟報告〕

- (1) 連盟三役会 10月27日(木)
- (2) 日歯連盟 理事会 10月28日(金)
- (3) 故飛田領一監事 合同葬儀関連行事 11月1日(火)・2日(水)
- (4) 岡山県四師連盟懇談会 11月2日(水)
- (5) 第1回全国歯科大学同窓会・校友会・日歯連盟参与会議および懇親会 11月5日(土)
- (6) 連盟支部代表者会議 11月5日(土)
- (7) 橋本がく躍動の集い 11月6日(日)
- (8) 連盟(組織)打合せ 11月8日(火)
- (9) 日歯連盟 常任理事会 11月10日(木)

〔学院報告〕

- (1) 合否判定委員会 10月31日(月)
- (2) 推薦入試合否発表 11月4日(金)

〔国保報告〕

- (1) 栃木県庁監査 10月28日(金)

〔事務局報告〕

- (1) 三菱UFJニコスカード 11月1日(火) プラチナカード
- (2) 岡山県労働組合と面会 11月7日(月)

共闘依頼

(3) 橋本岳事務所よりの依頼 11月10日(木)

3. 行事予定

本会行事 65件
連盟行事 県歯 9件, 日歯 3件
学院行事 7件
国保組合行事 4件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

(1) 長崎県歯科医師会より海外歯科医師会との交流取り組みに関するアンケート調査協力依頼について

事務局対応

(2) 日本歯科医師会より「地域保健・介護保険・産業保健関係アンケート調査」への回答依頼について

公衆衛生対応

回答方法 Webにより回答

締 切 11月30日(水)まで

(3) 平成23年度第1回岡山産業保健推進センター運営協議会の開催と出席依頼について

平岩常務理事 出席

日 時 12月8日(木) 15:00~17:00

場 所 岡山産業保健推進センター

(4) 日本学校歯科医会より平成23年度「児童虐待の取り組みに関わる実態調査」の実施と協力依頼について

公衆衛生対応

締 切 12月15日(木)

(5) 「日歯広報」コラム『都道府県通信』執筆依頼について

東原理事 対応

掲 載 平成24年1月25日号

締 切 平成24年1月11日(水)

執 筆 役員並びに各種委員会委員等

(6) 都窪支部より忘年会の開催と臨席依頼について

酒井会長

日 時 12月3日(土) 19:00

場 所 アークホテル岡山

(7) 岡山市歯科医師会より忘年会の開催と臨席依頼について

酒井会長 支部関係役員

日 時 12月7日(水) 19:30

場 所 アークホテル岡山

(8) 赤磐支部より支部新年会の開催と臨席依頼について

日 時 平成24年1月14日(土) 19:00

場 所 「柳川はむら」

(9) 玉野市歯科医師会より新年会の開催と臨席依頼について

日 時 平成24年1月28日(土)

19:00 (写真撮影の為 18:50集合)

場 所 倉敷由加山温泉ホテル 山桃花

(10) 岡山県保険医協会歯科部会より意見交換のための懇談会開催依頼について

※日程等については調整

(11) 心臓病センター榊原病院より健康教室開催に伴う講師紹介依頼について

公衆衛生対応

日 時 平成24年2月 土曜日

午後 (30分~1時間程度)

内 容 「歯周病と心臓病」

(12) 九州歯科大学同窓会中国地区連合会より第22回九州歯科大学同窓会中国地区連合会懇親会の開催と臨席(挨拶)依頼について

酒井会長

日 時 平成24年5月26日(土)

19:00~21:00

場 所 ホテルグランヴィア岡山

〔検討事項〕

(1) 岡山県労働組合会議より「TPP参加に反対する共同行動実行委員会への参加要請」について

※集会(デモ行進) 11月9日(水) 12:15

※激励メッセージ

- (2) 「岡山県国民医療推進協議会決起集会」の開催関連する動員依頼並びに当日の発言者について

登壇は 藤井副会長。動員は未定で報告

日時 11月27日(日) 14:00~15:30

場所 岡山コンベンションセンター イベントホール

報告 11月21日(月)まで

- (3) 本会会館使用申込について

いずれも承認

(⑤は変更もありうる旨打診で承認)

①日時 12月11日(日) 9:00~14:00

主催 岡山高等歯科衛生専門学校同窓会

②日時 平成24年2月19日(日)

14:00~17:00

主催 広島大学歯学部同窓会岡山県支部

③日時 平成24年3月3日(土)

16:30~20:00

主催 CLUB.S

④日時 平成24年3月17日(土)

17:00~22:00

主催 岡山市歯科医師会

⑤日時 平成24年4月22日(日)

10:00~12:00

主催 九州歯科大学同窓会

5. 閉会 (塚本理事)

今日の視点 (鈴木聖次)

重い病気の患者さんを軽い病気の患者さんが支えるという「受診時定額負担制度」。一見素晴らしい制度には見えますが、弱者である患者が同じ弱者である患者を支える、どこかおかしいと思いませんか？当然ながら国が国の予算内で、一歩ゆずっても健康な国民を含めた全国民が痛みを分かちあうのが当然と思われま

す。厚労官僚の発想の源が何所にあるのか私には理解し難いところです。当然全国の40団体から反対の烽火が上がり、今週から署名活動が始まってお

ります。私の診療所でも多くの患者さんが快く協力して下さっていますが、その説明に先生方は苦慮されているのではないのでしょうか。又、代筆可とのことですが、住所欄の「同上」「々」は不可とのこと。もう少し、署名をお願いする側にも配慮した説明文や様式を考えて欲しいものです。本日の理事会では、各支部からの要望を踏まえて県歯への提出期限を11月27日(日)のデンタルミーティングの日では、ということで合意を得ました。先生方にはご多忙の中、ご面倒ですが弱者である患者擁護のため一層のご協力、宜しくお願い申し上げます。

平成23年度 第27回

平成23年11月17日(木)

18:30~20:22

1. 会長挨拶

事業仕分けに関連して、特措法の存続が厳しいとの報道を耳にしました。

ある雑誌に、インドの村で高濃度フッ素含有水により骨硬化症などが起こり、WHOが濾過する機械を送っているとの記事がありました。フッ素に関しては国内でも賛否両論ありますが、慎重に対応してください。

2. 報告

〔各部委員会〕

(1) 広報部編集委員会 11月10日(木)

(2) 公衆衛生部小委員会 11月11日(金)

(3) 社保 審査・検討小委員会 11月12日(土)

(4) 社保 検討委員会 11月12日(土)

(5) 眠れる歯科衛生士サポート委員会小委員会
11月15日(火)

(6) 医療管理部 正・副委員長会 11月16日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

(1) 日学歯 定款改定委員会 11月4日(金)

- (2) 日学歯 福岡県学校歯科保健大会
11月5日(土)
- (3) 日学歯 アジア会議 11月8日(火)~11日(金)
- (4) 岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会
11月12日(土)
- (5) 秋季歯科医学大会講師懇談会 11月12日(土)
- (6) 厚生部文化事業部会レクリエーション大会
(ボウリング) 11月13日(日)
- (7) 岡山県健康づくり財団設立20周年記念式典
11月13日(日)
- (8) 岡山県学校保健会 第3回理事会及び表彰審査会 11月14日(月)
- (9) 青少年健全育成講演会(功労者表彰式)
11月14日(月)
- (10) 第3回歯科保健対策協議会 11月14日(月)
- (11) 岡山市内歯科医師会連合会公衆衛生部会
11月14日(月)
- (12) 支払基金幹事会 11月15日(火)
- (13) 公益法人制度改革に伴う相談会(岡山支部)
11月15日(火)
- (14) 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会
11月16日(水)
- (15) 日学歯 常務理事会 11月16日(水)
- (16) 公益法人制度改革に伴う相談会(玉島支部)
11月16日(水)
- (17) 故瀧 正典先生告別式 11月17日(木)
- (18) 神奈川県歯科医師会学校歯科医基礎研修会
11月17日(木)
- (19) 中国四国厚生局岡山事務所と面会
11月17日(木)

【その他】

- (1) 「月刊おかやま」と面会 11月17日(木)

【連盟報告】

- (1) 第1回歯科医師議員連盟会議および懇親会
11月11日(金)
- (2) 加藤勝信政経セミナー・懇親会 11月13日(日)
- (3) 故瀧 正典先生前夜式・告別式

11月16日(水)・17日(木)

【学院報告】

- (1) 岡山南支援学校実習 11月17日(木)

【国保報告】

- (1) 本部理事会 11月16日(水)

【事務局報告】

- (1) 広島国税局 岩崎課長補佐 御礼
11月11日(金)

3. 行事予定

本会行事 52件
連盟行事 県歯9件, 日歯2件
学院行事 8件
国保組合行事 3件

4. 協 議

【各種依頼事項】

- (1) ナーシングホーム大樹より口腔ケア研修の開催と講師派遣依頼について
承認 公衆衛生部でリーレット等の後方支援を
日 時 12月7日(水), 13日(火), 15日(木)
より2回程度
場 所 ナーシングホーム大樹
講 師 岡山高等歯科衛生専門学院
専任教員 植田智子
- (2) 玉島歯科医師会より新年会の開催と出席依頼について
日 時 平成24年1月14日(土) 19:00
場 所 割烹 ^{ねもと}子元
- (3) 岡山県歯科衛生士会より新年会の開催と臨席依頼について
日 時 平成24年1月14日(土)
18:30~20:30
場 所 ピュアリティまきび
- (4) 日本歯科医師会・国立がん研究センター連携事業「全国展開にむけた7ブロック担当者伝達講習会」の開催と中国・四国ブロック取りまとめ依頼について
地区歯科医師会に参加希望の打診をする

日 時 平成24年 1月14日(土)

14:00~17:00

場 所 歯科医師会館 会議室

※ブロック内で歯科医師とがん診療連携拠点
病院医師 各1名の旅費支給

- (5) 「第12回公明党新春のつどい」の開催と出席
依頼について

連盟対応

日 時 平成24年 1月15日(日) 13:00

場 所 岡山プラザホテル

〔検討事項〕

- (1) 岐阜県歯科医師会より「スポーツ歯科講演会」
の開催と参加案内について

開催のお知らせ

日 時 12月11日(日) 14:00~17:00

場 所 岐阜県歯科医師会館 オーディトリウム

※東海信越地区歯科医学大会分科講演会

- (2) 本会会館使用申込みについて

承認

①日 時 平成24年 1月14日(土)

19:00~21:00

主 催 東京歯科大学同窓会

5. 閉 会 (黒木理事)

今日の視点 (藤井龍平)

会長より、「先日の『飛田家並びに岡山県歯科
医師会・合同葬儀』では、大変お世話になりました。
ついては、飛田先生は現職監事であったため
本会監事が1名欠員となった。定款30条『役員に
欠員が生じたときには会長が会務に支障をありと
認めたときは、第26条により補欠選挙をしなけれ
ばならない』とあるが、監事は2名でやっていた
だきたい」旨の発言があった。

これにより、監事の補欠選挙は実施しないこと
とした。

平成23年度 第28回

平成23年11月24日(木)

18:30~20:15

1. 会長挨拶

寒くなって来たので、ご自愛ください。先日、
私宛に歯科医師国保から送られて来た医療費通知
に10ヶ月前の医療費が記載されていて、本人も家
族も忘れていました。世帯主宛に送られるとの事
ですが、個人情報等が厳しい中、個人(家族)の
プライバシーはどうなのだろうかと思いました。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 11月17日(木)、22日(火)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 日学歯 定款改定委員会 11月4日(金)

- (2) 日学歯 福岡県学校歯科保健大会

11月5日(土)

- (3) 日学歯 アジア会議 11月8日(火)~11日(金)

- (4) 日学歯 常務理事会 11月16日(水)

- (5) 神奈川県歯科医師会学校歯科医基礎研修会

11月17日(木)

- (6) 健康おかやま21推進会議 11月18日(金)

- (7) 岡山県地域・職域保健連携推進協議会

11月18日(金)

- (8) 第32回全国歯科保健大会 11月19日(土)

- (9) 学術部正・副委員長会 11月19日(土)

- (10) 御津支部(法人改革説明) 11月21日(月)

- (11) 日学歯 理事会 11月23日(水祝)

- (12) 学術部 岡大ICLSコース

11月23日(水祝)

- (13) 第2回岡山県へき地医療支援会議

11月24日(木)

〔その他〕

- (1) グラクソ・スミスクラインと面会

11月18日(金)

- (2) 東日本大震災義援金をNHK岡山に寄託

11月24日(木)

〔連盟報告〕

- (1) 第5回理事会 11月18日(金)
- (2) 川口 浩君を磨く会 11月24日(木)
- (3) 加藤勝信事務所と面会 11月24日(木)

〔学院報告〕

- (1) 教育懇談・懇親会 11月22日(火)

〔事務局報告〕

- (1) NHK岡山放送局へ義援金寄託
- (2) 和気支部 岸本 真先生よりDVD寄贈
- (3) 眠れる歯科衛生士 パート3名 常勤2名の就業は決定

3. 行事予定

本会行事 47件
 連盟行事 県歯7件, 日歯2件
 学院行事 7件
 国保組合行事 3件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 津山歯科医師会より新年互礼会の開催と臨席依頼について
 日 時 平成24年1月5日(木) 19:00
 場 所 津山鶴山ホテル
- (2) 岡山県警音楽隊「第18回定期演奏会 ふれあいコンサート」の開催と出席依頼について
 東原理事 出席
 日 時 平成24年1月21日(土)
 13:30~16:00頃
 場 所 岡山シンフォニーホール
- (3) 神奈川県歯科医師会より学会等に関する後援・助成についての情報提供依頼について
 学術部対応
- (4) 京都府保険医協会より「人体の不思議展」損害賠償請求事件に関する公正な判決を求める請願署名依頼について
- (5) 社会保険診療報酬の所得計算の特例措置(租税特別措置法第26条, 第67条)存続に向けた

地元選出国會議員への働きかけ依頼について
 すでに活動中

〔検討事項〕

- (1) 日本栄養士会・日本歯科医師会第3回共同シンポジウム「救われた命を守っていくために」～災害時に食べることをどう支えるか(仮題)～の周知協力依頼について

会報に掲載 or 学術附録で対応

日 時 平成24年1月21日(土)

13:00~16:30

場 所 歯科医師会館 大会議室

対 象 管理栄養士, 栄養士, 歯科医師,
 歯科衛生士

定 員 150名

5. 閉 会 (田頭理事)

今日の視点 (黒住正三)

東日本大震災が起こって早や8か月が経過し、本会でも義援金、支援金の活動を続けてきた。皆様の診療所の暖かい思いが被災地に届けられ続けている。今回も270万の暖かい気持ちがNHK岡山を通じて日本赤十字社へ送られた。しかし、その義援金のその後についてどのように使われているかがとても気になるのは私だけでしょうか。実は、義援金はプールされ、募集期間を終えてから、行政関係者などが組織する分配委員会で討議されて公平公正に、公共事業などに使われるのだそうです。今困っている、今すぐ助けたい人への募金者の想いはいつ届くのでしょうか。

歯科界のますます発展を祈って

都窪支部 小若 清志 (84歳)



明けましておめでとうございます。

私は昭和27年父の歯科医院を継いで当地に開業致しました。卒後3年ほど習練のため岩手県の方で先輩の医長のおられた総合病院でお世話になりました。結局、父や親切な先生に教えられて何とかやっておりました。

しかし、60年余りの間に世間はまったく様変わりし、また、歯科界の先進もさまざまのものです。歯周治療やインプラントなどは学生時代にあったモーツァルト、ベートーヴェン等ではなくマーラーやブルックナーブームになってしまったようにとても追い付かない状態であります。

愚息と代わって私は病弱となり、早くから隠居しております。みんなに迷惑をかけており、イライラしておりますが致し方ありません。愚息と孫の歯科大生が頑張っております以上、歯科界がますます発展するよう祈っております。

歯科界の将来は如何に

岡山支部 三宅 康夫 (84歳)



年男の新年の抱負を書くように依頼されたが、7回目の年男 84歳 今更抱負なんてものは無いが、若い頃を思い出して書き、今回の責任を果たす。

卒後、倉敷中央病院歯科に勤務したが、他科の医師と同じ時間働いて歯科の収入は少ない。仕事をしているのか、事務長が時々見に来たりした。事務長にすれば、他科の収入で病院を運営しているので歯科はお荷物なのである。しかし、保険点数は2年に1回、差はあるが上がっていた。でもこの差である。誠に肩身の狭い思いである。開業して考えた事は保険では他科に及ばない一般診療で収入を上げるしかない。

この為、東京・大阪と一般診療の勉強に精を出した。何れにしても歯科の料金はその仕事の内容が正當に評価も受けていない。どうすれば正當な評価を受けられるか、歯科界は総力を挙げてこれに挑戦しなければ歯科の将来はない。お互いに頑張りましょう。

以上、年寄の「ぐち」である。

年頭雑感

児島支部 中塚 昌伸 (72歳)

皆様あけましておめでとうございます。

昨年は東日本大震災をはじめ台風、大雨などによる自然災害が多く我が家も床下浸水の被害を受けました。今年はどうか平穏な1年でありますよう祈って止みません。

小生、馬齢を重ねること72年、6回目の年男となりましたが、7年前の大病を思えば望外の喜びです。

昨年夏には自分の車を舞鶴から小樽に渡し、一人で北海道一周と道内周遊をしました。自宅からの総走行距離は4455 kmでした。

今年は和歌山から太平洋沿いに北上し宮城県石巻まで行き日本一周を達成したいと思っています。

歯科医としてのこれまでは反省することばかりですが、要望がある間は続けるつもりです。これからの人生は余生では無く与生と心して、友人との飲食、ゴルフや旅行特にドライブなど身体の動く間に楽しみたいと思います。悔いを残さない人生などありえないでしょうが、でも、小生は目指したい。



辰年がめぐって

真庭支部 飯田 博品 (60歳)



昭和27年2月生まれ、5回目の辰年がめぐって来て僕は今年60歳になります。早いもので昭和51年大学卒業が辰年、当時はまさに夢と希望にあふれている様に感じていました。少なくともその時は。

次の辰年が昭和63年、結果的には昭和最後の年でしたが、その頃は肉体的にも精神的にも元気でした。そして社会的にも (たぶん)。

次の辰年が2000年 (平成12年)、楽しい事も辛い時もあったけどその頃の記憶は「世紀末よりあとしまつ」(?) でしょうか。そして今年が辰年 (還暦) です。60年生きて来て色々な事があったけど僕は大きな失敗はしませんでした。しかし、この事はむしろ恥ずべき事、何故なら「大きな失敗をしなかった」という事は「何もしなかった」という事に他ならないからです。

さて、次の辰年はまた12年後、しかし、もう次の辰年がまわって来る事は僕にはありません。やがて訪れる真実の日、すべてが優しく、穏やかに感じられる本当の日。その日まで何とかもうひと頑張りしなくては。

還 暦

岡山支部 木庭 茂治 (60歳)



還暦を迎えることができ本当にうれしい。

ただ同年の友が定年で第二の人生を歩き始めるのに対し、いつまで仕事ができるか考えねばならない年でもある。

私は歯科という仕事が本当に好きで、今迄色々な所で発表や講演をさせてもらいながら一生懸命やって来た。

おかげで多くの先生が見学に来て下さるようになり嬉しいし、跡継ぎも自慢で

きるほど成長し安心している。

しかし私自身は自分の臨床に満足しておらず、英会話に精を出しながらも海外まで研修に出かけている。臨床は今も確実に進歩しておりスライドから自分の成長が見てとれる。

私の臨床に懸ける意思が、まだこの歳の私と若い先生たちとを繋いでいてくれる。

休みには絵を描き音楽を聴き、2千メートルを超える山へ登山もする。

いずれ勝手にお迎えが来る。それまで元気なうちにせいぜい欲張って色んなことに挑戦しておこう。

それが元気の秘訣と考えれば、引退はもう少し先に延ばせそうである。

還暦を迎えて

赤磐支部 吉崎 元彦 (60歳)



御他聞に洩れず、賀寿を迎えるとは、ついこの間までは思っても見ませんでした。しかし、現実はまだそんな歳になってしまったのだと否定することも出来ず、素直に受け入れる事しかない諦める反面、振り返って見るとこの60年間は、戦後の復興から始まり高度成長期に乗って、割と不自由する事も無く、いい時代を過ごして来たと思っています。ところが、最近の円高、産業の空洞化、国の1,000兆を越す債務、TPP、年金の受給等、今後の事を思うと、これからの日本はどうなっていくのだろうか、一般的には定年の時期にはなるのだけれど、少しも安穏な気持ちにはなれない今日この頃でいます。

又、体のあちらこちらのパーツに少しガタが生じ、これも仕方無い事だと思いつつ、今の天の摂理から逸脱したエゴの上に成り立つ資本主義がいつまでも続く訳はなく、この先どんな事が生じて、やはり最後は健康な肉体が物を言うと思っていますので、これを機会に体力の増進に日々の時間を費やしたいと考えています。

新たな年を迎えて

和気支部 上田 美和 (48歳)



明けましておめでとうございます。

激動の卯年が終わり、新たな年が始まりました。思えば、去年は当たり前で日常を過ごせることのありがたさを、つくづく感じた1年でした。日常の煩雑さに取り紛れて、感謝の心をつい忘れがちになってしまいましたが、今年も目の前のごとをコツコツと精一杯やっていきたいと思っています。

この年になっても、歯科医としても人間としても、至らなさすぎる私ですが、周囲の方々のご厚情のおかげをもちまして、日々何とか過ごせている次第です。毎日の失敗から学び、明日は今日よりも少しでもましな事が出来るよう精進していきたいと思っています。

今年は、長男が進学し家を離れます。子供たちも、こうして順々に巣立っていくのかと思うと寂しく思いますが、自分の為に使える時間の過ごし方を考える今日この頃です。

48歳

岡山支部 湯浅 健司 (48歳)



不惑を過ぎて知命の歳に近づいたわけですが、歯科医師としてさらに夫、父、男として、いや人として天に向かって堂々と胸を張れる生き方をしてきたらどうか？歩んできた人生よりも残された時間のほうが少なくなっていることに気づき驚愕し狼狽している自分を認めたくないものの、解決策を模索するわけでもなく日々の雑事に流されていく。「行年五十にして四十九年の非を知り、六十にして六十化す」(淮南子)といいますが、凡人の私は自身の冠動脈までも硬化するありさまです。けれどもせめて、私の医院に足を運んでくださる患者さんに喜んでいただくことで、ほんのちょっとでも社会貢献できればなと思います。

東洋思想の碩学、安岡正篤先生の隻句に「一燈照隅，万燈照国」がありますが、伝教大師の言われた「一隅を照らす」行動がひいては「国の未来を明るく照らし出していく」ことにつながるのだという教示です。この心意気を胸に、切に生きていこうと思う48歳です。

新年を迎えて

岡山支部 平野 和幸 (36歳)



あけましておめでとうございます

昨年は、東日本大震災で多くの方が被災され、また多くの方々のあたたかい支援により復興へ少しずつ進んでいき、人の「絆」というものを考えさせられた1年となりました。

家族との「絆」、スタッフとの「絆」、患者さんとの「絆」など「絆」というものは目には見えませんが、何も特別なものではなくすぐ身近に存在しているものです。そして、それには思いやりと感謝の気持ちが必要不可欠だということを震災復興へのあたたかい支援によって教えられたのでした。

私も気づけば今年で開業して7年目を迎えようとしています。まだまだ未熟な自分を支えてくれる多くの方々への感謝の気持ちを忘れることなく、身近にある「絆」を大切にしていくことこそ自分の成長につながる第一歩になるのではないかと考えるようになりました。今一度、はじめて患者さんを診察した時の気持ちと体重をとりもどして日々自己研鑽に励みたいと思います。

Monthly Dental News Review (89)

平成23年

11月22日(火) ▶4疾患連携 歯科の全関与は岩手のみ

日本歯科総合研究機構が調査

都道府県が策定している医療計画における「がん」「脳卒中」「急性心筋梗塞」「糖尿病」の4疾患の医療連携で歯科診療所リストがあるのはごくわずかしかないことが日本歯科総合研究機構の調べで分かった。日本歯科医師会（大久保満男会長）が16日に開いた都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会で公表したもので、調査は2011年2月における状況を調べている。

医療計画の中で歯科医療機関リストがあるのはがんが岩手、群馬の2県、脳卒中と急性心筋梗塞計画は岩手のみ、糖尿病計画が岩手と岡山の2県で4疾患ともに歯科医療機関リストがあるのは岩手だけだった。

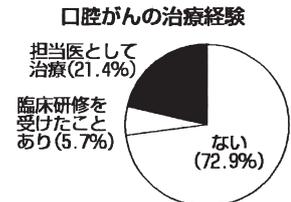
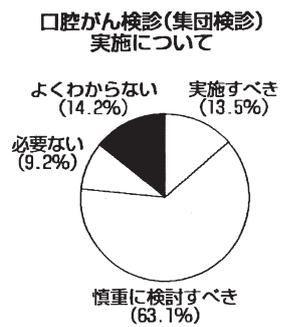
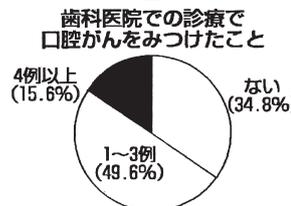
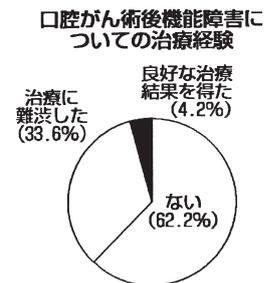
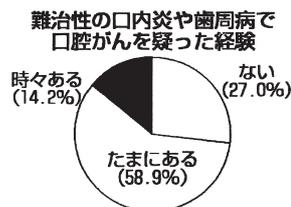
24日(木) ▶口腔がん 対応「できない」が3割

福井県歯会が「対応に不安」は5割超える
会員調査

福井県歯科医師会（斉藤愛夫会長）が会員を対象に実施した「口腔がん・口腔粘膜疾患に関する意識調査」で、難治性の口内炎や歯周病で口腔がんを疑った経験が「ある」と回答した会員が7割あった。さらに、治療中に口腔がんを見つけた経験が「ある」との回答も65.2%あったが、症例数は半数近くが1〜3例で、対応については「できない」が3割

を越え、「不安」が5割を超えている。

同調査は、口腔領域における健康管理の専門職である歯科医師が、口腔がんを含めた口腔粘膜疾患の早期発見での重要な役割を果たす上で、県歯会として予防と検診の体制整備に向けた取り組みの基礎資料とするために実施したもの。回収率は43.7%。



25日(金) ▶個人歯科診療所「経営努力は限界」

日歯が実態調査結果で見解

日本歯科医師会（大久保満男会長）は、第18回中医師・医療経済実態調査結果の個人歯科診療所についての見解で「経営努力や経費削減努力は限界に達しており、損益差額の落ち込みは、歯科医療供給体制の根幹を揺るがしかねない」と喫緊の課題として取り組む必要性を強調した。24日の定例会見で公表したもの。

【見解】
個人歯科診療所は平成22年時点で、歯科診療所の84%を占めており、これまでわが国の歯科医療の中心的役割を担ってきた。その個人歯科診療所における平成23年6月の損益差額はついに100万円を下回り、前回（21年6月）と比較し、17.2%減少した。

12月 5日(月) ▶ 社保・8月診療分

歯科は前年月比件数、金額とも増

社会保険診療報酬支払基金による平成23年8月診療分の総計確定件数は714億1万6千件、点数は1169億2247万8千点で前年同月に比べ、件数は4.1%、点数は5.5%増加した。

診療種別支払確定件数及び点数

(23年8月診療分)

診療種別	件数	対前年同月比		点数	対前年同月比	
		千件	%		千点	%
総計	71,416	104.1	100.0	116,922,478	105.5	100.0
計	39,955	103.1	55.9	84,613,051	104.2	72.4
	入院	848	100.6	1.2	38,568,515	102.7
入院外	39,107	103.1	54.8	46,044,536	105.4	39.4
歯科	9,704	105.5	13.6	11,718,860	105.2	10.0
調剤	21,717	105.4	30.4	20,590,567	111.6	17.6
食事・生活療養費	734	99.9	1.0	-	-	-
訪問看護療養費	41	110.9	0.1	-	-	-

(注) 件数の総計は、食事・生活療養費を除く数値。点数の総計は、食事・生活療養費、訪問看護療養費を除く数値。社会保険診療報酬支払基金の統計月報を基に本紙で集計したもの。

7日(水) ▶ 歯科医師数が10万人突破

平成22年12月末現在 厚労省調査、人口10万対も79.3人

過剰といわれる歯科医師数が、平成22年12月31日現在で10万1576人となり、初めて10万人を超えた。人口10万対も79.3人で、歯科医師適正数の一つの目安とされる50人を30人上回った。厚労省が6日に発表した「平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」によるもので、2年前の前回調査に比べると2150人増えたが、増加率は2.2%と平成になってからは18年の2.1%について低い伸び率となっている。

▶ 小宮山厚労相「診療報酬本体引き下げない」

小宮山厚労相は、平成24年度診療報酬改定での診療報酬本体について引き下げの考えがないことを明らかにした。5日に開かれた政府・与党の社会保障改革推進会議後の会見で述べたもので、「政策提言型の政策仕分けの結果は重く受け止める」とし、「診療料の偏在、救急・外科の充実のためには診療報酬本体を引き下げることはない」と話した。

8日(木) ▶ 24年度診療報酬改定 中医協が意見書提出

両論併記 適切な改定求める

中医協は平成24年度診療報酬改定の意見書を7日の総会でとりまとめた。改定率については、意見集約できず両論併記し「適切な改定を求める」とした。小宮山厚労相は、中医協の意見書を踏まえて安住財務相らと改定率の交渉に入る。

意見書で診療側、支払側の意見が一致したのは、社会保障審議会がまとめた基本方針の枠組みのなかで質の高い医療を受け続けるための取り組みの推進。

一致しなかったのは改定率の部分で診療側は診療報酬の引き上げを求めたのに対し、支払側は難色を示す内容となっている。

また、現在抱えている問題に対応するためには「診療報酬だけでなく幅広い医療施策が必要」と提言した。

「平成23年度 岡山県警察歯科医会研修会」開催のご案内

東日本大震災後の被災地宮城県に、6名の会員がご遺体の身元確認を目的に出動いたしました。私たち歯科医師がご遺族に対してできるせめてものことではありますが、社会的に多大な貢献をしていただけたものと思っております。

大規模災害の予測は困難であり、岡山県に限ってはと 생각이がちですが、災難(害)は忘れたころにやっ てきます。日常の診療と身元確認活動は全く異質のものであり、いざという時には日頃からの研鑽がも のを言います。

従来は、県下3地区で「岡山県警察歯科医会ブロック別研修会」を開催しておりましたが、本年度は 「大規模災害に備えて」をテーマに全県下の警察関係者、海上保安部職員、本会会員が一堂に会して標 記の会を開催いたします。

大規模災害は決してあってはならない事態で、このような研修が徒労に終わるに越したことはありませんが、「備えあれば憂いなし」で何時起こるとも分からない事態に備えたいと思います。

記

日 時 平成24年2月4日(土) 15:00~18:00
場 所 岡山県歯科医師会館5階大ホール

詳細につきましては、本誌別刷附録をご参照ください。

社会保険部

第7回 社会保険部検討委員会報告

平成23年11月12日(土) 16:00~17:40

1. 報 告

(1)10月新入会員 なし

(2)新入会員社保研修会 10月1日(土) 19:00 5Fホール 対象者8名 全員出席

(3)平成23年10月保険医療関係機関連絡会議

10月6日(木) 14:00 岡山県薬剤師会 西岡 理事

(4)支払基金幹事会

10月11日(火) 14:00 酒井 会長

・平成23年7月診療分

前年同月対比 支払額 100.4% 件数 104.9%

前 月 対 比 支払額 99.0% 件数 98.4%

・本人 レセプト1件当たりの平均点数

平成23年6月診療	岡山県	1,320.2点	全国平均	1,322.1点
平成22年6月診療	岡山県	1,352.0点	全国平均	1,343.1点
前年同月対	岡山県	97.6%	全国平均	98.4%

・家族 レセプト1件当たりの平均点数

平成23年6月診療	岡山県	1,044.3点	全国平均	1,086.9点
平成22年6月診療	岡山県	1,068.0点	全国平均	1,103.0点
前年同月対	岡山県	97.8%	全国平均	98.5%

(5)国保審査委員会報告(レセプト1件当たりの平均点数)

平成23年6月診療	国保	1,383.0点	後期高齢者	1,602.3点
平成22年6月診療	国保	1,412.2点	後期高齢者	1,657.0点
前年同月対	国保	97.9%	後期高齢者	96.7%

(6)中国地区社会保険担当者連絡協議会 10月22日(土) 14:00 ホテルニューオータニ鳥取
伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事

(7)中国地方社会保険医療協議会 岡山部会

10月25日(火) 13:30 伊丹 常務理事 新規指定医療機関 2 医療機関

(8)社会保険部小委員会 10月25日(火) 20:00 第1会議室

(9)中国四国厚生局岡山事務所と面会

10月27日(木) 17:00 伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事

(10)長崎県歯科医師会役員研修会

11月5日(土) 17:00

酒井 会長, 伊丹 常務理事, 西岡 理事, 田頭 理事

(11)NTTデータ「レセック体験会 岡山」 11月10日(木) 14:00 メルパルク岡山 西岡 理事

(12)社保相談窓口報告

(13)その他

2. 行事予定

- | | | | |
|---------------|----------------|-------|-------|
| (1)集団指導(指定更新) | 平成23年11月16日(水) | 15:00 | 薬業会館 |
| (2)審査・検討小委員会 | 平成23年12月10日(土) | 15:00 | 第1会議室 |
| (3)第8回検討委員会 | 平成23年12月10日(土) | 16:00 | 第3会議室 |
| (4)審査・検討小委員会 | 平成24年1月7日(土) | 15:00 | 第1会議室 |
| (5)第9回検討委員会 | 平成24年1月7日(土) | 16:00 | 第3会議室 |

3. 協 議

- (1)請求上留意すべき事項について
- (2)冊子作成について

—第139回学術集談会のお知らせ—

患者さんの審美的要求の高まり、歯科用金属の高騰、修復材料の進歩などから、コンポジットレジン修復の頻度は飛躍的に伸びてきています。しかし、形成時にはどのような点に気をつけたらいいのか？数ある接着システムの特徴は？Ⅱ級の充填を上手に行うコツは？研磨はどのようにしたら効率がいいのか？など多くの疑問があると思います。

今回の学術集談会では、東京医科歯科大学でコンポジットレジンの研究を極め、東京で開業されている猪越先生をお招きします。ずばり！会員の皆様の疑問にお答えしてもらい、デモでそのテクニックをお教えいただこうと思います。翌日からすぐに役立つ学術集談会ですので、是非、スタッフの皆様も、御一緒にご参加ください。



日 時： 平成24年2月26日(日) 10:00～15:00

会 場： 岡山県歯科医師会館 5階 大ホール

演 題： 「最新のコンポジットレジン修復を極めよう！」

～知って得する材料の使い方と修復テクニック～

講 師： 猪越 重久先生（東京都開業）

<講演抄録>

コンポジットレジン充填のポイントは、①充填しやすい時期に充填する、②健全象牙質には削り込まない、③信頼できる接着性レジンを実際に使う、以上の3点です。

無麻酔・無裏層で安心して充填ができるのは、象牙質内1/3までの象牙質う蝕です。それには、象牙質う蝕の診断が大切で、自覚症状のない段階で積極的に見つける努力をすることが必要です。

窩洞形成は、う蝕検知液を使いこなし、う蝕象牙質の構造に基づく削除法に従います。正しい術式に従えば、注射麻酔の必要性は少ないはずで。

接着性レジンには、2ステップセルフエッチシステムが最も再現性が高く、成功するためには各ステップのポイントをしっかりと確認することです。

充填にはコンポジットレジンとフロアブルコンポジットレジンを用いることで、う蝕の修復だけでなく、様々な歯質欠損の修復や歯冠修復物の修理ができます。

前歯部の充填では薄手の透明マトリックスが重要です。臼歯部のⅡ級充填では、バイタインリングとセクショナルマトリックスを是非使いこなしてください。充填が楽しくなります。

以上、症例を交えてお話しいたします。

報 告 **学 術 部**

◎岡山県歯科医師会生涯研修セミナー

：10月2日(日)

「歯科診療時の救急処置と救急薬品の使い方—その理論と実際—」

岡山大学病院歯科麻酔科 宮脇卓也教授

参加者 講演会140名, 実習70名

◎岡山支部救急蘇生講習会

：10月12日(水), 13日(木)

参加者 58名, 37名

◎第7回正副委員長会：10月14日(火)

1. 岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会出席者資料, 出張図書, 役割分担
2. ICLSコース出席者, インストラクター, 内容の確認
3. つくぼ・お口の健康8020フェア参加者
4. 中国地区歯科医学大会協議題検討
5. 来年度の事業計画について

◎第61回中国地区歯科医学大会, 平成23年度
日本歯科医師会生涯研修セミナー (鳥取)

：10月22日(土), 23日(日)

◎「つくぼ・お口の健康8020フェア」救急蘇生講習会 (ゆるびの舎)

：11月3日(木) 参加者 138名

◎岡山救急医療研究会幹事会, 第13回学術集会 (岡山赤十字病院, 毛利)

：11月5日(土)

◎岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会

：11月12日(土)

「子どもたちの健やかな成長のために」

子どもの不正咬合について

一般歯科医に伝えたい考え方と早期発見

のポイント 井上裕子先生 (大阪府開業)

参加者 100名

◎第8回正副委員長会 (毛利, 清水, 小野, 中島, 居樹, 内田)：11月19日(土)

1. 岡山大学ICLSコース最終打ち合わせ
2. H24年岡山県歯科医師会生涯研修セミナー講師決定
3. 12月4日(日)歯科医療安全研修会, 出張図書メンバー選出
4. 救急薬品使用法DVD作成について

◎岡山大学ICLSコース (毛利, 清水, 小野, 中島, 内田, 小原, 上村, 藤原, 本行, 三村, 渡里, 岡本, 野村)：11月23日(木)

岡山県歯科医師会ICLSコースに参加して



NPO救命おかやま主催で、岡山県歯科医師会ICLSコースが2011年11月23日(水)9時より岡山大学医学部にて開催されました。今回で、第3回ということで新規7名、複数回の受講者が2名、インストラクター研修に3名が参加しました。ICLS (Immediate Cardiac Life Support) コースは日本救急医学会が認定する、突然の心肺停止に対する最初の10分間のチーム蘇生に重点を絞ったコースです。当日は、岡山大学病院救急部長 氏家良人教授ならびに歯科麻酔科 宮脇卓也教授をはじめ、ベテランの看護師、救命士らの充実したスタッフのもとで、講習を受けました。

午前9時より当日の最終目標であるデモの後、救命処置の基本であるBLSの実習を受け、心電図モニターの取り扱いと波形の解説をしていただきました。引き続き、喉頭鏡を使用したバルーンカテーテル挿管による気道確保の実習を受け、プライマリーABCDの実習を行いました。昼食の後、心電図モニターの波形から、除細動の必要なVF (心室細動) VT (無脈性心室頻拍) のケースのプレゼンと解説を受けました。この間、インストラクター研修者は、オペレーターとして実習モデル人形の脈拍、血圧、心電図制御のPC操作の指導も受けました。さらに除細動不要なケースとして、PEA (無脈性電気活動)、Asystole (心静止) のプレゼンと解説を受けた後、診療所内で患者の急変を想定した実習を行いました。最後に2班に分かれて、チーム対抗で実践さながらの対処、原因検索まで行いました。

私自身2回目の受講でしたが、前回の受講が2年前で、その内容をかなり忘れていました。今回の受講で前回より少しは理解を深めたと思います。我々歯科医は診療中の患者が急変した場合、また日常生活で救急処置を必要とする状況に遭遇した場合に、できることは限られています。その限られたことをしっかり、迅速にできるようにするには、このような実習や訓練を定期的に受ける必要があると改めて認識した一日でした。

(副委員長 内田欣臣)



平成23年度岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会 後記



11月12日(土)の19:00より、県歯会館5階大ホールにて、秋季歯科医学大会が開催されました。

講師は大阪府池田市でご開業の井上裕子^{やすこ}先生で、演題は「子どもたちの健やかな成長のために ―子どもの不正咬合について― 一般歯科医に伝えたい考え方、早期発見のポイント―」でした。

副題からも推察されるように、井上先生は矯正歯科の専門医です。小児の咬合育成についての報告は、小児歯科医の先生方のものが多く、矯正歯科医に掛かれる患者たちはすでに、矯正治療が必要になっているそうです。そのため、井上先生は以前から、子どもたちの幸せのために、かかりつけ歯科医として、または学校歯科医として子どもたちに日々接している一般歯科医に、不正咬合の芽を早期に発見して欲しいと訴えておられました。大きな治療をしなくてもすむようになれば、子どもたちも幸せだし、その事はかかりつけ歯科医にもうれしいことだと話されました。

しかし、一般歯科医が早期に子どもの不正咬合の治療に関わる場合の注意点を二つ挙げられました。一つ目は「矯正治療は最初に治療用装置ありきではない」ということ。二つ目は「待つことの危なさ」ということでした。井上先生はこれらについて、特に正面顔貌の非対称性と左右同名歯の萌出時期の差が大きい場合には注意が必要で、これを見落とさないようにと言われました。

また後半では、医療人として、患者やその家族（特に母親）との接し方や、治療費の体系についても述べられました。土曜日の夜にもかかわらず、約100名の出席者があり、会員にとって充実した一日になったのではと感じました。

(副委員長 小野総一郎)



「第32回全国歯科保健大会」参加報告

去る11月19日(土)に生憎の雨の中「立ち上がれ！健口日本！～健康は歯から口から笑顔から～」をスローガンとして、岐阜市の長良川国際会議場を会場に標記大会が開催されました。

当日は、主催者である岐阜県歯科医師会 高木幹正会長の挨拶に始まり、小宮山厚生労働大臣（代理）、大久保日歯会長、古田岐阜県知事、細江岐阜市長の挨拶と続き、歯科保健功労者表彰へと進行しました。本年度の厚生労働大臣表彰の受賞者は個人55名と団体9団体であり、多年にわたり歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のために著しい功績のあった個人と団体が表彰されることになっています。本県からは鈴木聖次先生（瀬戸内支部）、藤井龍平先生（岡山支部）が受賞され、団体では都窪歯科医師会（矢尾尚武支部長 出席）が受賞の栄に浴されました。続いて行われた日本歯科医師会会長表彰は個人43名、団体2団体となっており、地域社会の歯科保健衛生の普及向上、改善やきわめて困難な条件の下で献身奨励し、顕著な功績があった個人および団体が表彰されることになっています。本県からは御津歯科医師会（磯島 修支部長 出席）が受賞し、大久保日歯会長から表彰状が贈られました。



引き続き「第60回母と子のよい歯のコンクール優秀者表彰」が行われ、全国各地から選ばれた6組の母子がよ坊さんと共に登壇しました。壇上で動き回る子どもたちには微笑ましくも感じましたが、昨今の母子の口腔管理状況を考えると、この事業も十分に役目を果たし終わったような思いがしました。

続いて、医師・作家の鎌田 實先生による『「食」と「命」はつながっている』と題した基調講演が行われ、その後のシンポジウムをもって全日程は終了しました。

末筆ながら、この度受賞された皆様には、お祝いを申し上げますとともに、衷心より敬意を表します。

（理事 横見由貴夫）

平成23年度 日本歯科医療管理学会中国支部総会・ 学術大会に参加して

平成23年10月30日(日)に山口県歯科医師会館にて標記総会・学術大会が、「生活を支える歯科医療をめざして」をメインテーマに開催され、特別講演1題、一般口演9題が発表されました。

学術大会に先立ち開催された総会では、平成22年度決算並びに平成23年度事業計画が承認され、来年度は鳥取県の担当で開催されることが決定しました。また、平成24年度から日本歯科医療管理学会として「認定医制度」が実施されることになるとの報告があり、現在認定基準について最終調整が行われているとのことでした。

学術大会の特別講演は「歯科治療におけるトラブル — 予防と対応 —」と題して、山口大学大学院歯科口腔外科学 上山 吉哉教授が講演されました。講演の中で先生は「トラブルを回避するためには、説明をきちんとする。患者とのコミュニケーションをとることが大切。きちんとコミュニケーションが取れていれば事故が起こっても訴訟になることは少ない」と提言され、講演を締め括られました。

一般口演9題のうち2題が岡山県歯科医師会医療管理部からの発表でした。私は「歯科外来診療環境体制加算の施設基準に対する考察 — アンケート結果から推測した採算ライン —」と題して発表しました。来春の点数改正で外来環が継続されれば、アンケート結果から推測すると、45.6%の医院で、実質的な自己負担無しで外来環の施設基準を満たすことができる可能性があることを報告しました。また、谷 俊彦先生は「歯科医療機関における医療安全管理体制の現状と今後の課題 — 岡山県歯科医師会会員に対するアンケートに基づいて —」と題して発表し、第5次医療法改正後に3回にわたって行ったアンケート結果から、岡山県歯科医師会会員の医療安全管理体制の確保は進行しているが、未だ十分とはいえないことが示されました。しかし院内研修等の実施、ヒヤリ・ハット等の事例収集に関する結果は、一層の努力が必要であることを示唆していたと報告しました。

(副委員長 城山 博)



城山 先生



谷 先生



南 先生

平成23年度歯科医療安全研修会

12月4日(日)午前10時より、山陽新聞社 9階大会議室にて、歯科医療安全研修会が開催されました。師走の忙しい中、会場のキャパシティーを上回る474医療機関、954名の参加をいただき、会員の皆様の医療安全に対する関心の高まりを感じました。当日は会場設定等で大変ご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

研修会では、県歯会員の医療安全管理体制の現状と今後の課題について、医療管理部より報告があり、その後、川崎医科大学血液内科学 和田秀穂教授より、『医療従事者を守るために知っておきたい血液媒介性感染症と予防対策 ～特にHBV・HCVについて～』と題し御講演いただいた。

講演では感染予防の総論として、接触感染、飛沫感染、空気感染、血液媒介性感染の説明があった。総合的な感染予防には標準予防策（スタンダードプリコーション）が重要であり、その基本として、手洗いの重要性が示された。手洗いは「1ケア1手洗い」が基本であり、手洗いの順序等の解説があった。

次に、B型、C型肝炎のそれぞれの特徴について講演があった。B型は成人の場合、初感染で急性肝炎を起こし治癒することが多い。しかしながら数%は慢性化し、肝硬変、肝細胞癌と進行する場合がある。最近では慢性化しやすい遺伝子型AのB型肝炎ウイルスが多くなってきていると説明があった。また、B型肝炎ウイルスは他の肝炎ウイルスに比べ劇症肝炎を引き起こすことが多く注意が必要である。C型肝炎は感染するとその60～80%が慢性肝炎に移行する、感染者数推定200万人の国内最大の感染症である。劇症肝炎を起こすことは少ないが、肝硬変、肝細胞癌の原因となることが多いと解説があった。

最後に、針刺し事故についての講演があった。事故直後の対応として重要なのは、血液を絞り出さないことである。石けんを用い流水下での洗浄は必要であるが、絞り出すとかえって感染する可能性が高まるということである。また、B型肝炎ウイルスに対してはワクチンがあるので、医療従事者は必ずワクチン接種を受けるべきだと強調されて



90分の講演は終了した。

医療管理部では医療安全研修会を今後とも開催していく予定です。今回受講された先生方は、ぜひ、各自の医院でスタッフを交えたミーティングを行い、知識を共有し、予防対策の一助としていただきたいと思います。

(谷 俊彦)



開催案内

— 平成23年度—

スタッフレベルアップ研修会

スタッフ全員で学ぶ！「むし歯予防はなぜ必要？」

～ フッ化物応用の理解と確認 ～

クラジ歯科医院主任衛生士として、臨床の現場でご活躍の青木 薫先生を講師にお迎えして、特にフッ化物の応用について歯科助手の方にも分かりやすくお話し頂きます。また、日々患者さんとふれあうご自身の体験を通じて、デンタルスタッフとしての「やりがい」についてもお話し頂く予定です。

- 日 時 平成24年2月19日(日) 午前10:00～12:00
- 場 所 岡山県歯科医師会館 5階大ホール
- 講 師 クラジ歯科医院主任衛生士 青木 薫 先生
- 対 象 会 員 ・ 従 業 員

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○印 開館予定 ×印 閉館予定

1月	1日(日)～3日(火)	8日(日)	9日(月・祝)	15日(日)	22日(日)	29日(日)
	×	×	×	×	×	×
2月	5日(日)	11日(土・祝)	12日(日)	19日(日)	26日(日)	
	×	×	×	○	○	
				10:00～17:00	10:00～15:00	

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

平成23年度 レクリエーション大会 (東日本大震災復興支援チャリティー大会)

ご案内

ファミリースキー・スノーボード

毎年ウインタースポーツの季節がやってまいりました。

ファミリースキー・スノーボードツアーを下記の要領で開催いたします。

行き帰りは大型貸し切りバスでゲームを楽しみながら、また大山では、終日スキー、スノーボード、ソリをご満喫下さい。

記

- 期 日 平成24年2月5日(日)

- 日 程 7:00 岡山県歯科医師会館 発 (6:40集合)
9:30 大山スキー場 着
16:00 大山スキー場 発
18:30 岡山県歯科医師会館 着
*県北から参加の方は久世インターにて停車致します

- 場 所 大山スキー場 鳥取県大山町 TEL 0859-52-2300

- 参加費 会員 2,000円 家族・従業員 1,000円 (小学生以下は無料)
*食事・リフト代等は含まれておりませんので各自ご負担下さい
*参加費は指定口座より引き落としさせていただきます

- 締 切 り 平成24年1月28日(土)

詳細は後日、参加者にお知らせ致します

お問い合わせは 担当：北山 仁 (TEL 086-284-2348) まで

平成23年度 レクリエーション大会報告 (東日本大震災復興支援チャリティー大会)

ゴルフ

10月30日(日)、鬼ノ城ゴルフクラブにてゴルフ大会が開催されました。朝から小雨模様のあいにくの天気でしたが、申し込み者52名全員参加のもと、熱戦が繰り広げられました。

塚本理事の挨拶の後、アウト・インに分かれてスタートしました。鬼ノ城ならではの池やバンカーに苦労させられたのは私だけでしょうか。

今回の大会は、東日本大震災復興支援チャリティーイベントの一環ということで、表彰式では参加者より総額46,039円の募金をいただきました。

大変ありがとうございました。主な成績は以下のとおりです。

来年もよろしくお祈りします。

成績	氏名	支部	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	小見山 信	倉敷	36	44	80	9.6	70.4
準優勝	青木 正之	倉敷	43	40	83	12	71
3位	常光 広人	倉敷	40	41	81	9.6	71.4
4位	難波 一司	岡山	44	51	95	22.8	72.2
5位	寺尾 晃一	岡山	38	37	75 (ベストスコア)	2.4	72.6

(青木正之)



ボウリング

平成23年11月13日(日)、岡山県歯レクリエーション・ボウリングの部が東日本大震災のチャリティー大会として、岡山フェアレーンにて開催されました。

今年は日程が他の行事と重なってしまった先生が多数おられ、参加人数15名の“少数精鋭”！？の大会となりました。

全員集合の後、記念撮影を行い、さあ競技開始。最初は静かだった各選手も2、3フレームと進行するに連れヒートUP！ ダブル、ターキーとさらには7連続ストライクを出される先生も。皆さん無事3ゲームを投げ終わられたときには、少し上気した良い顔をされていました。

表彰式では東北の物産を主とした賞品が入賞、跳び賞、参加賞、の各選手に大きな歓声の中手渡され、大会を終了しました。結果は以下の通りです。

参加いただいた方々、お疲れ様でした。また競技中、震災の義援金（13,705円）をいただき、ありがとうございました。来年はもっと多くの方に参加いただけるようにさらに楽しい企画を行いますので、よろしくお願ひします。



結 果

優 勝	吉久 淳一	(岡山)	635 (ハンデ・-30込み)
準 優 勝	角南 考昭	(岡山)	565 (スクラッチ)
第 三 位	吉久 訓子	(吉久歯科)	523 (ハンデ・+60込み)
ハイゲーム	吉久 淳一	(岡山)	267 (スクラッチ)



(白石尊之)

岡山支部

第200回学術臨床放談会のご案内

前月号でご案内の通り岡山市歯科医師会では、下記の通り講演会を企画いたしましたので改めてご案内申し上げます。他支部の会員の先生ならびに従業員の皆様の参加もお待ちしております。

岡山市歯科医師会研修部

日 時：平成24年1月29日(日) 9時30分～16時

場 所：岡山県総合福祉会館（岡山市北区石関町2-1）

タイトル：「第200回記念 学術臨床放談会

これからの歯科医療 ～何がわかったか、そしてどう変わるか～」

講 師：歯科医師 阿部 二郎 先生（東京都開業）

二階堂雅彦 先生（東京都開業）

歯科衛生士 石原 美樹 先生

歯科技工士 木村 健二 先生

タイムテーブル：

9：30～11：45 開会后各分科会

1 F 大ホール 歯科医師セッション

演題：「システムティックな義歯製作法による『実践・下顎総義歯の吸着』」（阿部先生）

「歯周治療—今日までそして明日から—」（二階堂先生）

4 F 大研修室 歯科衛生士セッション

演題：「プラークコントロールを究める」（石原先生）

5 F 講座室 歯科技工士セッション

演題：「これからの技工はどう変わるか ～CAD/CAM・新素材そして経営～」（木村先生）

13：15～16：00 全体講演 1 F 大ホール

13：15～15：30 各講師による講演

15：30～15：50 シンポジウムおよび質問

16：00 閉会

ランチョンセミナー 12：00～13：00 1 F 大ホール

演題：「トウースウェア」

講師：安田 登 先生

※ランチは先着順となります。午前の受付時に整理券を配布します。

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

吉備支部

「第6回吉備路お口の健康まつり」

秋晴れの11月13日(日)に県歯ランチプロジェクトである「吉備路お口の健康まつり」が天満屋ハピータウンリブ総社店で開催されました。

会場では、「お口の健康相談」「虫歯のできやすさチェック」「ボクとワタシの指がたづくり」「きみのお口の虫歯菌はいるかな?」「お口のガン検診」「あなたの未来のムシ菌と肥満占い」のコーナーを設け、また定刻に「お口の健康クイズ」を行いました。

1階のセントラルコーナーで午前10時から午後3時まで開催し、終始絶えることが無い来場者は約500名に達しました。

今回は岡山大学歯学部顎口腔再建外科学教室のご協力で「お口のガン検診」を行い、予想以上の検診希望者が来場されました。口腔癌に対する不安、関心の高さを再認識させられこの企画は今後非常に重要と思われました。

「あなたの未来のムシ菌と肥満占い」は、目玉コーナーの一つであります。まず、来場者に1日に食べるおやつを選んでもらいその中に含まれる砂糖の量を合計してムシ菌と肥満を予想するものです。パンフレットに掲載しているおやつは、支部準会員の久門田美香先生が紙粘土で数カ月掛け製作されたもので、本物そっくりの色付けされていて、その精巧さに来場者全員が関心され、特に中年女性には好評でした。



残念ながら「もも丸」の登場はありませんでしたが、総社市のマスコットキャラクター「チュッピー」が来てくれました。子供たちは大喜びで、周りの大人も微笑んでしまいます。あらためて着ぐるみは最強だと思知らされます。

また、第6回と回を重ねると地元の恒例行事になり、来場者の中には指模型を毎年の成長の記録として残している家族もいらっしゃいます。このことより、継続する重要さまた地域住民のイベントに対する反応を実感できました。

今回も多くの方のご協力により無事開催することができました。

岡山県歯科医師会、総社市、天満屋ハピータウンリブ総社店、技工士会吉備支部、外科学教室の川本知明先生、県歯会員木村里栄先生に感謝申し上げ、吉備支部会員の先生および関係者の皆さまありがとうございました。

(モニター 遠藤彰治)



笠岡支部

第4回ランチプロジェクト

10月30日(日)笠岡歯科技工専門学校において、第38回歯科技工祭がおこなわれました。

今年も岡山県歯科医師会笠岡支部におけるランチプロジェクトを同時に開催させていただきました。

『歯科なんでも相談』としまして、午前と午後の2部構成で計4名の先生が、歯科技工祭に訪れた人の中で希望される方の相談に乗りました。相談を終えられた方には昨年同様歯ブラシとミラーを差し上げて、今後とも口腔の健康維持に努めるよう指導しました。相談まではといわれる方にも多数アンケートにご協力いただきました。

歯科技工祭は、生徒の作品展示や、模擬店、ストラックアウト、ビンゴゲームなどで盛り上がっていました。

今年は地元ケーブルTVの笠岡放送にも協力をいただき周知を図りました。

生憎の空模様となりましたが、多数の方に来ていただきました。

歯科医師会としても歯技祭を盛り上げ、地域の口腔の健康に関する啓発を続けていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

(モニター 井上勝哉)



「これから」

倉敷支部 上村 勝人

私事で恐縮ですが、今年でとうとう50歳を迎える事になりました。飛行機で言えば水平飛行を終え、着陸態勢に入ったところでしょうか。まだまだこれから！と思っていますが、体力は衰え、老眼になり、耳が遠くなったのか最近家族に声が大きくなったと言われます。最近一番思う事は同じ時間を過ごすのに、笑って過ごす方が楽しいという事です。同じ事象に対して悲観的になるのではなく楽観的に考えた方が良いと思うのです。例えば予定していた電車に乗り遅れた場合、なんでこんな事になったのか過去を振り返ってぐじぐじ反省するより、次の電車の時間まで余った時間を、折角だからと言って楽しむ事が出来れば時間が有意義に使えますし、気分も良いです。

先日鹿児島へ行きましたが、一日目は団体行動、二日目は久しぶりに一人旅を楽しみました。旅行は好きなのでいつもは家族や友達と行きますが、最近は一人で行く事はありませんでした。自分の行きたい所や食べたい物を謳歌したつもりだったのですが、途中で寂しくなって予定を切り上げてしまいました（疲れたのも有りでしたが）。やはり感動や喜びは分かち合う方が倍増します。老後が寂しいと言うのはこういうものかと少しだけ実感しました。

何年か前から温泉に興味を持つようになって、特に泉質にこだわるようになってきました。それまで温泉と言うのは、熱いお湯が沸いているぐらいにしか思っていなかったのが、お湯には色々な種類があって、色、臭い、浴感、更には味に至るまで多種多様に渡る事が分かりました。岡山県では美作三湯（湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉）が有名です。温泉に興味が出始めた頃、奥津温泉の東和楼と言う所のお風呂に入る機会がありました。その時浴槽底から勢いよく供給される源泉（足元湧出源泉掛け流し）、柔らかい肌触り、ぬるぬるして気持ちが良い（アルカリ泉）、長湯できる丁度良いぬる湯（奥津温泉は源泉の温度が40℃位なので加温、加水なし）、お湯に癒されるとはまさにこの瞬間でした。お湯に浸かりながら頭の中を空っぽにすれば、日頃の鬱憤やストレスを忘れる事が出来ました。

先日ニュースで引田鰯（ブランドだそうです）の出荷の様子が報道されていました。鰯にもブランドがあるのかと言う驚きと、引田は隣の香川県にあるのに「引田鰯」は岡山には無いことを知って2度吃驚です。京阪神には出荷されており、流通とはそういうものだと後から知りました。鹿児島では「首折れサバ」と言うものが食べられます。元々は屋久島で水揚げされたもので、漁獲後すぐに首を折って血抜きをするので鮮度は抜群だそうです。こう言った岡山に居ては普通には食べられないものを食べに行く、と言うのも旅行の楽しみの一つだと思います。



これから。温泉や美味しい物を求めて色々な所へ旅行が出来ればと思います。その際、家族とか友人とか大勢で行けたらさらに楽しいだろうと思います。その為には健康であることが大前提です。勿論美味しく食べる為には歯の健康が一番なのは当然として。

次回は矢部倫幸 先生（倉敷支部）をご紹介します。

岡山県立岡山南支援学校における実習報告



本学院52期生（3年生）は、11月17日(木)岡山県立岡山南支援学校において口腔衛生教育実習を行いました。本実習は、支援学校の学習活動に参加することにより、生徒の日常生活行動を理解し、対象者の発育段階および障害のレベルに応じたコミュニケーションの取り方や、口腔保健管理を実施する基礎的能力を養うことを目的としています。実習に先立ち、学生は9月15日(木)同校にて事前講義を受講し、聴覚より視覚が有効で何度も繰り返すことが大切であることなど具体例を用いて、教えていただきました。

実習当日の開講式では、木本校長から「実習を通じて障害児が歯科受診する時に役立ててください」とのお話があり、学生は2班に分かれて校内を案内していただきました。そのあと、小学部1年生～6年生、高等部1年生～3年生計24のクラスに分かれて授業参観・課題別学習・作業学習に参加し、生徒とコミュニケーションをとりました。

午後からは、学生は4～5名のグループに別れ、中学部の担当クラスへ移動し、食事や歯磨きを見学した後、事前講義やクラス担任の助言を参考に作製したペープサート・エプロンシアター・カードを使ったクイズ・紙芝居などそれぞれ工夫を凝らし、歯磨きすることの大切さや方法について講話をしました。そして、担任の先生方の協力のもと歯垢染色剤を使用し、マンツーマンで個々の生徒に適したブラッシング指導を行いました。そして、閉講式では担当の先生から毎年生徒たちが本実習を楽しみにしていて、今年も楽しく実習を受講したこと、そして、年々内容が充実していることなどお褒めの言葉を頂きました。木本校長をはじめ、教職員の皆様に今年も積極的かつ好意的にご協力いただき、大変充実した実習になりました。

(教務担当講師 後藤剛緒)

日本栄養士会・日本歯科医師会第3回共同シンポジウム 「救われた命を守っていくために」～災害時に食べることをどう支えるか～

この度、日本栄養士会との第3回共催事業として、歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士・栄養士を対象として、「救われた命を守っていくために」をテーマに標記シンポジウムを開催することとなりました。

1. 開催日時 平成24年1月21日(土) 13:00～16:30
2. 会場 歯科医師会館 大会議室（東京都千代田区九段北4-1-20）
3. 主催 日本栄養士会、日本歯科医師会
4. 目的 平成23年3月11日発災した東日本大震災では、岩手県、宮城県、福島県を中心に多くの方が被災され、未だ避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされています。このような生活環境において、災害時において生きていく上で基本となる「食」を「食べること」の専門職である管理栄養士、栄養士、歯科医師、歯科衛生士が、どのように被災者を支えていくべきであるのか。共通認識を深めていくことを目的としている。
5. 対象者 管理栄養士、栄養士、歯科医師（日歯会員もしくは行政に勤務する歯科医師）、歯科衛生士
6. 定員 150名（但し、定員になり次第、締め切らせていただきます）
7. 申込方法 管理栄養士・栄養士：「日本栄養士会雑誌」12月号並びに日本栄養士会ホームページに掲載の申込方法により、平成24年1月10日(火) 必着にて日本栄養士会へ申込をする。
歯科医師・歯科衛生士：所定の申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAXにて、平成24年1月10日(火) 必着にて日本歯科医師会地域保健課へ申込をする。申込者には参加証を発送。

お知らせ

平成23年度のコカ・コーラ健康保険組合の歯科健診は、11月30日を持ちまして終了いたしました。
ご協力ありがとうございました。

健診料の請求締切り期限は、平成24年1月31日となっています。

受診者の歯科健康診査票（健診機関→健康組合用）を提出されていない歯科医療機関は至急、県歯事務局までご送付ください。

日本歯科医師会

平成23年度歯科医師臨床研修指導歯科医講習会

- 期 日 平成24年3月3日(土)～3月4日(日)
- 場 所 日本歯科医師会会議室（東京都千代田区九段北4-1-20）
- 対 象 ①7年以上の臨床経験を有する歯科医師
②5年以上の臨床経験を有する歯科医師であり、日本歯科医学会専門分科会の認定医・専門医の資格を有する歯科医師
- 受講料 日本歯科医師会会員：30,000円（食事代・テキスト代・修了証代・報告書代等含む）
日歯より受講申込み受理の連絡後に指定口座に振り込むものとする
- 申込方法 受講申込書に記入し、日本歯科医師会・学術課に直接申込みください。
（受講希望者は本会へ連絡して下さい。受講申込書あります。）
- 締切り日 平成24年1月31日(火)
ただし、定員（40名）に達し次第締め切る

本講習会は日歯生涯研修事業の対象となります。

また、本講習会のご案内は日本歯科医師会雑誌12月号、日歯広報12/15号および日歯ホームページメンバーズルームにそれぞれ掲載しています。

こちら編集室

谷 本 「湯たんぽ」
哲也

今年辰年、年男です。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

早いもので、編集室に携わって7回目の年明けです。編集委員として少しでもお役にたっていれば良いのですが…。まだまだ“こちら編集室”の原稿に右往左往しながら頭を悩ませている今日この頃です。

去年からの節電・省エネの流れで、わが家は今“湯たんぽ”ブームが到来しています。“湯たんぽ”は「湯婆」と書き、「婆」とは「妻」の意味で、妻の代わりに抱いて暖を取ることを意味しているそうです。近所のドラッグストアで何気なく見かけて、1,000円もしない値段のため、気軽に購入。日本では室町時代ぐらいから陶器製で使用されていたらしいが、今回購入したものはプラスチック製。ずっと見向きもしなかった“湯たんぽ”ですが、これが意外に心地いい。「妻」や電気アンカのコードのように邪魔をされず、コードレスで持ち運び自由。家族の人数分お湯を沸かす手間はかかりますが、改めて便利になりすぎた生活を見直す良い機会になりました。この冬「妻」よりもお勧めです。

2012年がポカポカ暖かく、笑顔があふれる1年になりますように！



訃 報



故 瀧 正典 先生

享年97才（平成23年11月16日ご逝去）

岡山市北区広瀬町 2-31

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

会 員 異 動

11月末日現在 正会員数 1,040名

◎退会

医療法人水清会水島第一病院

特別会員 倉敷支部 P67

◎死亡

瀧 正典 正会員 岡山支部 P15

（P＝会員名簿のページ）

1 月の収納金

1. 本 会

(1) 診療報酬割会費（社保、国保10月診療の窓口分を含む総診療費 $\frac{2.8}{1000}$ を控除）

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割、均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料（平成22年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

(1) 年金拠出金 （2月分）

(2) 福祉共済負担金（2月分）

11月 会の動き

- | | | | |
|-----|--|-----|---|
| 1日 | 編集委員会
歯科往診サポートセンター支部連携調整会議 | 15日 | 医療管理部小委員会（眠れる歯科衛生士サポート小委員会）
公益法人制度改革に伴う相談会（岡山支部）
支払基金幹事会 |
| 2日 | 故飛田領一監事 合同葬儀
TV放映「せとうちパレット930」黒木理事
出演 | 16日 | 医療管理部正・副委員長会
公益法人制度改革に伴う相談会（玉島支部）
都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会
(日歯) |
| 3日 | 文化事業部会レクリエーション大会「テニス」
はぐくみ岡山「おぎゃっと21」（津山）
都窪支部「つくほお口の健康8020フェア」
救急蘇生講習会
TV放映「知りたい聞きたい もも丸くん！
第4弾」 | | 日学歯 常務理事会
国保組合 本部理事会 |
| 4日 | 第10回警察歯科医会全国大会
日学歯 定款改定委員会 | 17日 | 理事会
編集委員会
「月刊おかやま」と面会
中国四国厚生局岡山事務所と面会
神奈川県歯科医師会学校歯科医基礎研修会 |
| 5日 | 長崎県歯科医師会へ出向
日学歯 福岡県学校歯科保健大会 | 18日 | グラクソ・スミスクライン(株)と面会
健康おかやま21推進会議
岡山県地域・職域保健連携推進協議会 |
| 7日 | 岡山県糖尿病医療連携体制検討会議 | 19日 | 学術部正・副委員長会
第32回全国歯科保健大会 |
| 8日 | 日学歯 アジア会議（ベトナム ～11日） | 21日 | 公益法人制度改革に伴う相談会（御津支部） |
| 9日 | 岡山県四師会懇談会 | 22日 | 編集委員会
本会学院 教育懇談会 |
| 10日 | 理事会
編集委員会
レセック体験会 | 23日 | 岡大ICLSコース
日学歯 理事会 |
| 11日 | 公衆衛生部小委員会 | 24日 | 理事会
東日本大震災義援金をNHK岡山に寄託 |
| 12日 | 社保 審査・検討小委員会
社保 検討委員会
岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会 | 25日 | 岡山県国民健康保険団体連合会理事会 |
| 13日 | 文化事業部会レクリエーション大会「ボウリング」
岡山県健康づくり財団設立20周年記念式典 | 26日 | 岡山市歯科医師会歯ッピーフェア（～27日）
「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員
連絡協議会 |
| 14日 | 岡山県学校保健会第3回理事会及び表彰審査
会
第3回歯科保健対策協議会
岡山市内歯科医師会連合会公衆衛生部会
青少年健全育成講演会 | 27日 | 岡山県国民医療推進協議会決起集会 |
| | | 28日 | 公衆衛生部小委員会 |

中国地方社会保険医療協議会岡山部会
 本会学院 三役会議
 29日 公益法人制度改革に伴う相談会（津山支部）
 警察歯科医会研修会打合せ
 日学歯 第4回学術小委員会（第1部会）

30日 公益法人制度改革に伴う相談会（倉敷支部）
 都道府県歯科医師会事務長事務連絡会
 第10回岡山医療訴訟連絡協議会
 日学歯 制度委員会

1月・2月 本会の予定

1月4日 編集委員会	本会学院 教務会議
5日 津山歯科医師会新年互礼会	本会学院 一般入試A日程合否判定委員会
7日 社保 審査・検討小委員会 社保 検討委員会	26日 理事会
12日 理事会 編集委員会	27日 本会学院 第2回学院監査・監事会
14日 日本歯科医師会・国立がんセンター連 携事業伝達講習会 岡山県歯科衛生士会新年会 岡山県医師会新年祝賀会 赤磐支部新年会 玉島歯科医師会新年会	28日 成人の無料健診事業 玉野歯科医師会新年会
18日 医療管理部正・副委員長会	31日 本会学院 職員会議
19日 理事会 編集委員会	2月1日 編集委員会
21日 岡山県警音楽隊「第18回定期演奏会ふ れあいコンサート」 中国・四国地区歯科医師会会長・日歯 代議員合同会議 笠岡支部総会	2日 理事会 9日 理事会 編集委員会
22日 岡山県難聴者協会「歯科衛生」講座	15日 医療管理部正・副委員長会
24日 編集委員会 中国地方社会保険医療協議会岡山部会	16日 理事会 編集委員会
	19日 スタッフレベルアップ研修会
	22日 編集委員会
	23日 理事会 平成23年度第14回中規模県歯科医師会 連合会
	25日 本会監事会 予算決算特別委員会

1月・2月 支部の予定

1月5日 津山支部定例会、新年互礼会
 6日 児島支部理事会
 10日 新見支部理事会
 12日 玉島支部役員会
 13日 岡山支部第18回理事会
 14日 玉島支部新年会
 赤磐支部新年会
 17日 小田支部勉強会
 19日 勝・英支部定例会
 真庭支部新年会
 20日 都窪支部理事会
 21日 岡山支部総会
 吉備支部新年会
 笠岡支部総会
 24日 岡山支部新入会員説明会

25日 津山支部理事会
 27日 岡山支部第19回理事会
 岡山支部班長会
 倉敷支部定例理事会
 28日 児島支部旅行（～29日）

2月2日 津山支部定例会
 10日 岡山支部第20回理事会
 玉島支部役員会
 14日 新見支部理事会
 21日 津山支部理事会
 小田支部勉強会
 24日 岡山支部第21回理事会
 倉敷支部定例理事会
 25日 新見支部総会

日本の保険は、ジャパンが変える。

保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る個人用自動車総合保険「ONE-Step」やインターネットによる契約と行き先別にリスクを細分した新・海外旅行保険「off!（オフ）」など。

あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。

21世紀、日本の新しいライフスタイルに合った高品質の安心を力強く、ご提供します。



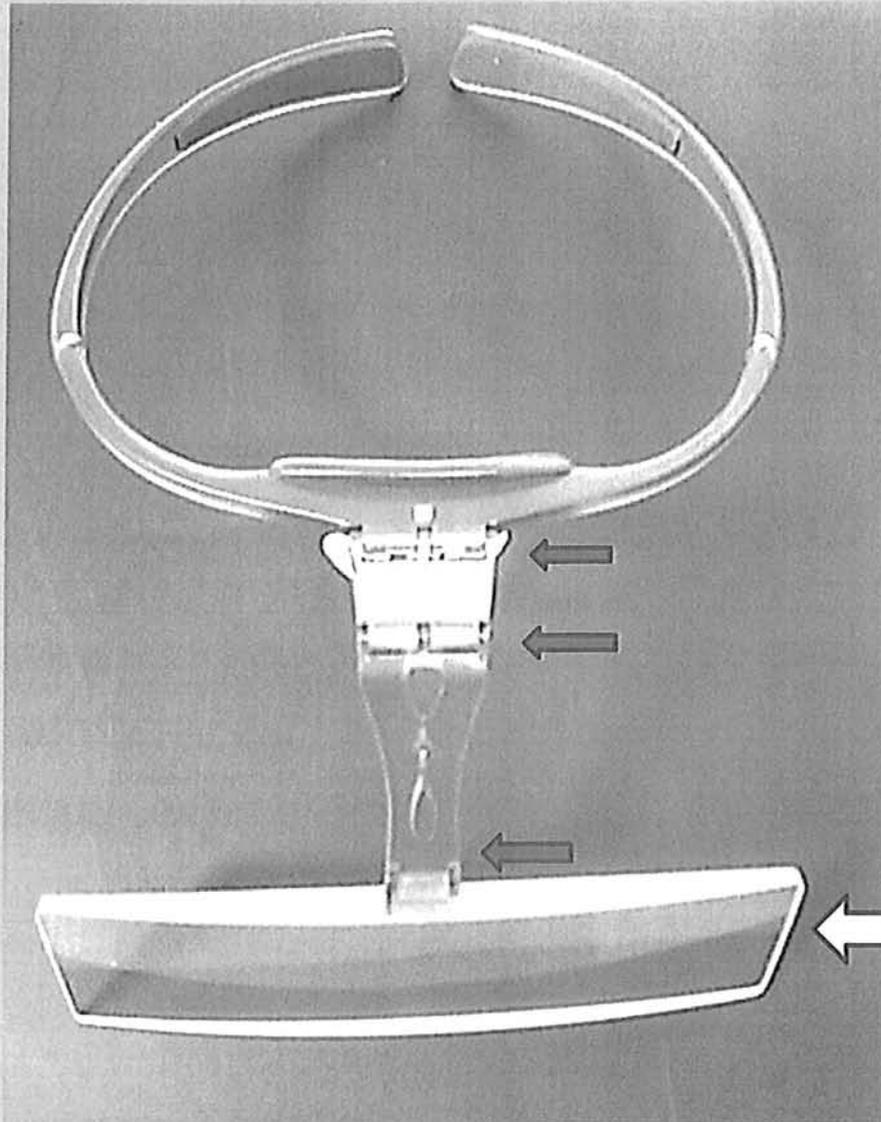
損保ジャパン

株式会社 損害保険ジャパン

岡山支店 営業課
 〒700-0913 岡山市北区大供1-2-10 損保ジャパン岡山ビル
 TEL:086(225)1045 FAX:086(225)1220

SJ05-12524 (2006.3.1)

パラゴン I クリニカルワーキンググラス



60gの超軽量化に成功
専用保護ケース付

キズが着きにくい
表面加工済

無焦点タイプ 1.8倍

眼鏡の上からでもご使用出来ます
3つの間接によりレンズの角度と
位置調節が可能です

販売価格 ¥80,000-

医療機器届出番号 40B2X10001000031



岡山大学(医学部、工学部、農学部)で
採用されております

体験用の貸出をしております

カーディオメディックス株式会社

〒700-0955

岡山市南区万倍155の3

TEL086-242-6010 FAX086-246-6070

患者さまの満足度100%を目指して!!

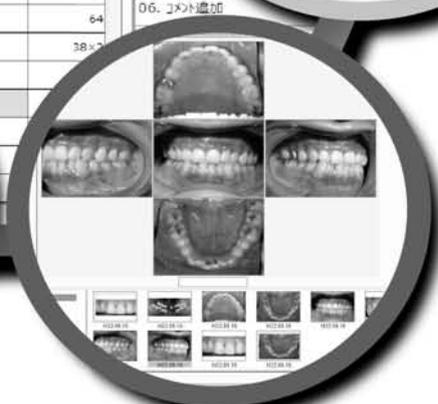
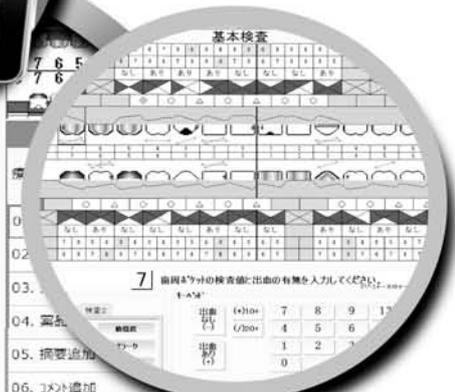
統合電子カルテシステム

ハイデンタルスピリット

Hi Dental Spirit[®] XR 7i

カルテの
真正性を確保

i Pad が
世界を変える



<地域密着 即行く、即やる>



<サポートは私たちに
おまかせください>

◎日立特約店 お客様の満足が私たちの喜びです。

TWS 東和ハイシステム株式会社
TOWA HI SYSTEM CO.,LTD.

本社 〒700-0971 岡山市北区野田3丁目12-33 FAX 086-243-6838

TEL 086-243-3003(代)

<http://www.towa-hi-sys.co.jp>

UCLA、北京大学口腔医学院、
 トルク大学をはじめ、誰もが
 世界のリーダー格と認める**海外の大学と**
双方向交流を続ける、わたしたち朝日大学。
 短期留学制度を持つ大学は多くても
 交流大学からの学生の受け入れをも
 継続的に行っている歯科大学は、わずかです。
 「国際性豊かな歯科医師の育成」という
 私立大学としての「建学の精神」が、そこにあります。

また可能な限り**低額に設定した学費**も、やはり
 歯科医学を志す全ての若者にそのチャンスを、
 というフィロソフィーに基づいています。

3つの附属医療機関。
 358床を有する**医科歯科総合病院**（附属村上記念病院）。
 最先端の医療現場に直結し
 全身管理を学ぶ理想的な環境。
 鍛える。育てあげる。卒業後もサポートする**生涯学習**。
 真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ歯科医師へ…

さあ、未来へ急ぎましょう。

2011年度から歯学部¹の学費を改定(大幅減額)いたしました。

2012年度
入試情報

一般入試(Ⅰ期)

試験日 **1/25**

出願期間 **1/6 ~ 1/20** 試験場: 本学 大阪 広島

大学入試センター試験利用入試(Ⅰ期)

試験日 **2/18** (本学個別試験)

出願期間 **1/17 ~ 2/9** 試験場: 本学

Experience

 **朝日大学**
<http://www.asahi-u.ac.jp/>

 **歯学部**

朝日大学 学費減額

検索 

 大学院歯学研究科

 歯科衛生士専門学校

 附属病院

 附属村上記念病院

 PDI岐阜歯科診療所

FD: 0120-058-327

E-mail: nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

平成24年1月1日発行(毎月一回1日発行)
昭和42年4月3日 第二種郵便物認可

岡歯会報

1月号

通巻第七八〇号

定価一〇〇円

編集人

中村 慶男

発行人

酒井 昭則

発行所

岡山市北区石関町一―五(購読料は年会費に含まれる)

